SPEAKER SYSTEM

D-105C

ONKYO®

取扱説明書

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いします。
お読みになったあとは、保証書、お客様相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 改造しない

分解禁止

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因になります。

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

注意

■ 設置上の注意

- ぐらついた台の上や傾いた所、厚手のじゅうたんの上など不安定な場所におかないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。

- 移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因になります。
- 壁はその材質、桟などの位置により、ネジの保持強度に大きな差が出ますので取り付けに際しては、十分ご注意ください。（専門業者にご相談ください。）

■ スピーカーコードは安全な場所へ

- スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、壁に掛けた場合など、特にご注意ください。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

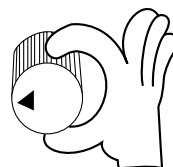
■ 使用上の注意

- 電源を入れる前にはアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

ステレオ、音のエチケット

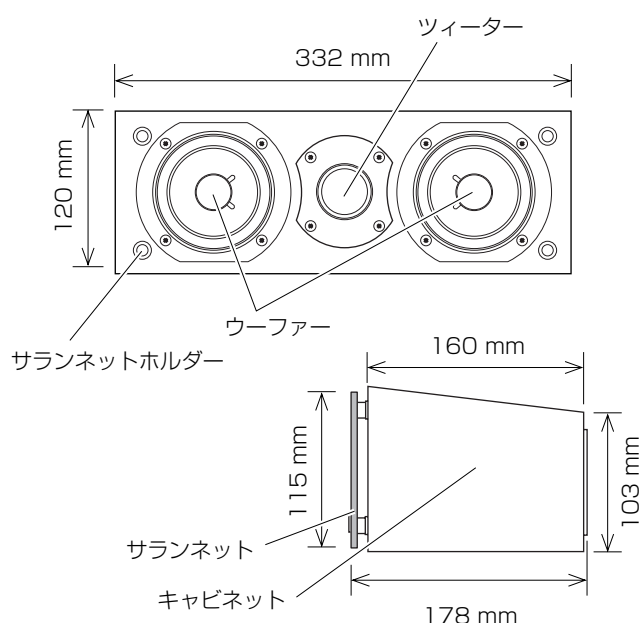
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

お手入れについて

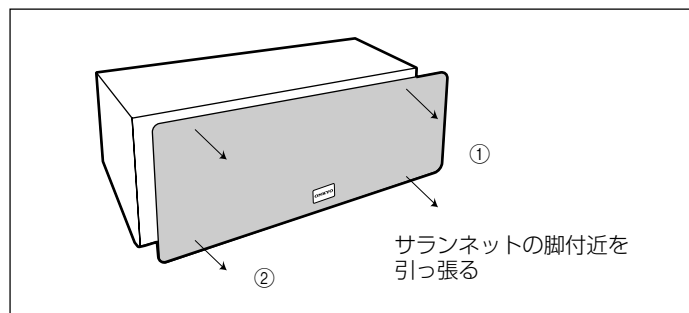
キャビネットは、時々シリコンクロスまたは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものなどでふきますと傷がついたり、文字が消えたり、変色したりすることがありますから、ご使用にならないでください。

化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

サランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか、ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

各部の名称

サランネットの着脱

このスピーカーシステムは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

① サランネットの長手方向の片側を持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの片側をはずします。(サランネットの脚付近を引っ張るとはずしやすいです。)
② 同じようにサランネットの反対側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
③ 取り付けるときは、サランネットの四隅にある突起部を本体のサランネットホルダーに合わせて押し込みます。

取り扱い上の注意

- 本機は通常の音楽再生には表示の許容入力に十分耐えますが、次のような特殊な信号が加えられますと、最大許容入力以下でも過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

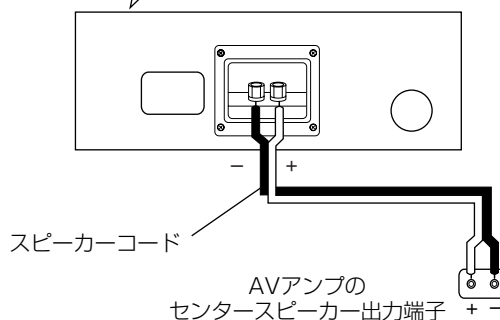
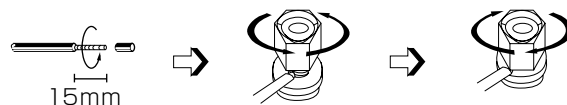
① FMチューナーが同調していないときのノイズ
② テープレコーダーを早送りしたときの音
③ 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
④ アンプが発振しているとき
⑤ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
⑥ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音
（抜き差し時は必ずアンプの電源を切ってから行ってください）
⑦ マイク使用時のハウリング

- 本機のツィーターには強力な磁石を採用していますのでドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

接続のしかた

- 本機とアンプを接続するときは、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本機の定格インピーダンスは6Ωです。接続するアンプはそれに適したものをご使用ください。
- 本機裏面の入力端子とアンプの出力端子を、スピーカーコードで次の図のように接続してください。

- スピーカーコードのしん線はよくよじり、確実に端子に接続してください。

☆ 本機の入力端子は、市販のバナナプラグを使用することができます。

アンプの電源スイッチを入れる前に

- スピーカーコードの ＋、− がショート（接触）していないか十分に確認してください。ショートさせるとアンプが故障する場合があります。
- スピーカーコードの ＋、−（極性）を間違えないでください。極性を間違えると、低音感が損なわれて音の定位が定まらなくなります。
- スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

ご注意

- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、浴室や台所の近くなど、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。傾斜した場所や強度の低い台等に設置すると転倒や落下の危険があるだけでなく、音質的にも好ましくありません。

テレビやパソコンを組み合わせるとき

一般的にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので普通のスピーカーシステムを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は、（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能となっています。

ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は 一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合はスピーカーをテレビから離してください。また近くに磁石など磁気を発生するものが置かれていますと本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

ご注意

テレビなどとの近接使用をした場合、テレビから出ている電磁波の影響でアンプの電源を切っていてもスピーカーが雑音を発生することがあります。このような場合は、スピーカーをテレビからさらに離してご使用ください。

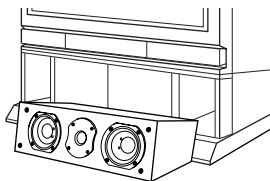
スピーカーシステムの設置場所について

● **よりよい音で音楽を楽しんでいただくために設置については次の様なことにご注意ください。**

スピーカーシステムと設置場所との間は面接触より点接触の方が一般的に良い結果が得られます。またガタツキがあると質のよい低音が得られなくなりますので付属のコルク円板やコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。

センタースピーカーはテレビまたはプロジェクター用スクリーンになるべく近い位置、たとえばテレビの上または下、スクリーンの下などに置くのが一般的です。

● **低い位置に置く場合**

テレビの下やスクリーンの下に設置した場合、床と平行方向になるため、床の反射が大きかったり高域の減衰が激しくなります。それを防ぐためスピーカーキャビネットの傾斜のついた面を下にし、ウーファー、ツィーターがリスナーの方を向くように設置してください。

● **高い位置に置く場合**

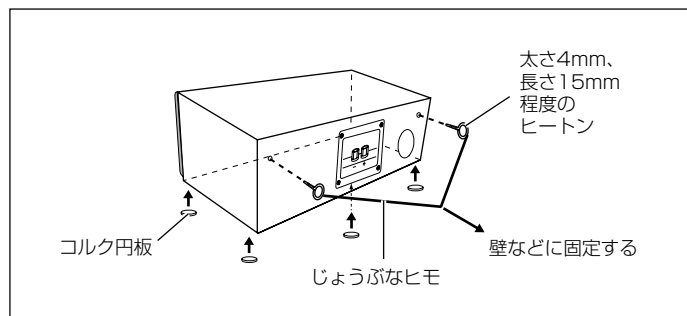
テレビの上など高い位置に置く場合は、スピーカーが落ちたりすると危険ですので、設置に際しては十分気をつけてください。特にお子さまのおられるご家庭などでは気をつけてください。

テレビの上に置く場合には

- 本機の大きさよりも置く場所が広いこと
- テレビの上が平らで傾いてないこと
- テレビが不安定な台の上などに置いていないこと

等にご注意ください。

本体の底面に付属のコルク円板を貼りつけ、滑り止めを行ってください。また落下防止のためキャビネット背面に設けてある左右2カ所の穴に太さ4mm、長さ15mm程度のヒートンなどを使って丈夫なひもを取り付け、壁などに固定してください。

また、低い位置に置く場合と逆に傾斜のついた面を上にして設置してください。

注1：テレビの上に置く場合は「テレビやパソコンを組み合わせるとき」もあわせてごらんください。

注2：付属のコルク円板は接着する面が汚れていたり、水分がついていると接着できません。汚れや水分の付着が無いことを確認してください。

主な仕様

形式：	2ウェイ　バスレフ型
定格インピーダンス：	6 Ω
最大入力：	70W
定格感度レベル：	86dB/W/m
定格周波数範囲：	70Hz～35kHz
クロスオーバー周波数：	3kHz
キャビネット内容積：	3.7ℓ
使用スピーカー：	ウーファー：9cm　コーン型×2 ツィーター：2.5cm　ドーム型
外形寸法：	332（W）×120（H）×178（D）mm （サランネット、突起部含む）
質量：	3.0kg
付属品：	スピーカーコード（2.5m×1本）、 コルク円板（4個）、 取扱説明書、保証書、 お客様相談窓口・修理窓口のご案内
その他：	防磁設計（EIAJ）

本機の定格及び外観は性能改善のため予告なく変更することがあります。仕様は日本電子機械工業会（EIAJ）の規格によります。

修理について

1. この商品には保証書を別途添付しています。保証書は販売店でお渡し致しますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。
2. 保証期間中の修理などご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。
3. 万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。
4. 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。
5. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご購入された時にご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日　：　　　　年　　　月　　　日
ご購入店名　：
Tel.　　　（　　　）
メモ：

ONKYO
オンキヨー株式会社

http://www.onkyo.co.jp/

本社／大阪府寝屋川市日新町2−1　〒572-8540
製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはオンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内記載の最寄りのサービスステーションにお申し出ください
お客様相談窓口：☎ 072 (831) 8111